2016,9,25　深緑のブナ原生林・中央分水嶺・お花めぐり・古道近江坂探訪　**三重嶽・大御影山縦走記録**

今日のコースは、ブナ原生林探訪のハイライトコースの一つで、爽やかな風をいっぱい浴びながらトレッキングを楽しみました。また、大日尾根から大御影山の間は、古道近江坂で、いにしえのロマンに浸りながらの山歩。ブナの巨木の変木・奇木もこのコース［豪雪地域］ならではの魅力であり、ワイワイガヤガヤ談笑しながら、たっぷり楽しみました。今日は眺望が素晴らしく、遠景の山々までもはっきり楽しめ、「いいね・・」の連発。キタヤマブシ（トリカブト）もちょうど見ごろであちこち咲き誇り綺麗でした。またヤマボウシの赤い実やサルナシの実もアチコチあり、味見を楽しみました。長距離でしたが、みなさん健脚で予定より早く下山。帰りにみなさん「楽しかった」「すばらしい良いコースだった」とおっしゃり、大満足の御様子。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史探訪：**古道　近江坂は、近江酒波寺（西暦 741 年僧行基開創の寺院）と若狭　闇見神社（式内社）の間を人馬が往来した道である。大日岳および三十三間山に至る山域は、南北朝時代以前は、酒波寺の寺領であったので、山入（炭や薪を取る）の年貢を若狭倉見から近江に運んだり、近江から祈祷のため倉見に出向いたりと往来がなされた。南北朝時代になると　将軍足利尊氏が軍資金を確保するため、山にも重い課税をした。酒波寺は、年貢を払えないため、倉見・能登野の代表者と話しをし、西暦 1351 年　現在酒波寺にある平安時代の大般若経 600 巻の写経と三十三間山西側の山入権を交換した。その後、近江・若狭ともの祭礼のお供えや流鏑馬行事に馬を運んだり、大般若経の祈祷会などで人馬の往来が絶えることなく、この古道が使われた。今日のコースの大日尾根から大御影山の間は、古道　近江坂である。**

◆トレッキングの様子

本谷から登る

急登を行く

ブナ原生林を観察①

②

ヤマボウシの実を味わう

甘みがあり美味しい

三重嶽山頂

福井県側の眺望を楽しむ

昼食

大日尾根

キタヤマブシのお花が綺麗

大御影山山頂にて

◆自然観察

レモンエゴマ

キタヤマブシ

ツルリンドウ